### 第2回長尾地区学校再編計画地域協議会 会議録

日 時: 平成 19 年 11 月 15 日(木) 19 時 00 分から 21 時 15 分

場 所:長尾支所 2階会議室 参加者 :委員 23名(欠席4名)

事務局 教育長、教育部長、教育総務課長、学校教育課長、担当職員4名

傍聴人 : なし

#### (会議内容)

1.副会長の選任について

副会長が未選出のため、出席委員に諮った結果、以下の者を副会長とした。

所属団体:造田支会 氏 名:根本修二

2 . 会議及び会議結果の公開・非公開について 出席者委員全員の賛成により、公開とする。

# 3.議題

(1) さぬき市学校再編計画地域連絡協議会への委員選出について 以下の4名を選任する。

会長 寒川 巧

副会長 根本修二

委員 真鍋清高

委員 岩崎真紀

(2) さぬき市学校再編計画(案) について

事務局より再編計画(案)の策定経緯、学校の現状、学校の適正規模について説明。

### (3)質疑応答

(委員)学校施設の耐震基準はどのようになっているのか。

(事務局)昭和56年以降の建物は新耐震基準。それ以前の建物は、耐震補強及び改築が 必要である。現在、簡易な診断は実施している。

(委員)耐震基準はどの程度の地震を想定しているのか。

(事務局)震度7程度を想定している。

- (委員)他の地区に比べれば造田地区は、急速に児童の減少はないようだ。現状のままでもいいのではないか。また、小学校の低学年は、地域でいるのが良いと思う。低学年は、なるべく負担のかからないようにするのがいい。5・6年生が統合校へ行くという考えはどうか。また、中学校は、長尾・大川・寒川で1校でもいいのではないか。
- (事務局)まず、中学校に着いてであるが、検討委員会でも2校案や3校案もあった。しかし、地域的な考慮(地域的バランス)も必要ではないかとのことから4校案になった。

  (大学年のみの学校は、分校になるのでは、通学については、再編となれば通学

低学年のみの学校は、分校になるのでは。通学については、再編となれば通学 バスなどを検討し、負担を軽くする方法もある。

- (委員)再編の理由とする競争原理の重要性とあるが小学生には、あまり強要をしない 方がいいのでは。むしろ少ない人数がいいのでは。小学校の再編よりも中学校 の再編を先にしてはどうか。
- (事務局)競争原理は、競争のみを重視しているのではない。集団競技、例えば運動会などで、学級対抗リレーもできない。当然、練習も熱が入らない。
  - (委員)中学校の体育館や運動場が狭いため、部活動に不便を感じている。改善はできるのか。また、小規模な設備関係(トイレ等)が改善されていないのに、統合ができるのか。再編をすれば改善されるのか。再編の問題より、今の状況も改善してもらいたい。
- (事務局)再編は、環境整備の改善も含めたもの。地域により、施設の格差を解消したい。 長尾中学校の運動スペースが狭いとのことだが、再編により小学校と一体的な 施設として、有効に敷地を活用したいと考える。
  - (委員)資料で児童数の推移は、転入を考慮していないようだが、転入増も考えるべき だ。学校や幼稚園があってこそ地域の発展があると思う。
- (事務局)確かに転入も考えられる。しかし、10年間の推移を考えるとき、住民基本台帳の数字が一番分かりやすいのではないかと思う。
  - (委員)日本の1学級数は40名とあるが、先進国は30~35名。アメリカは、20 名と聞いた。また、今、学校教育法の改正がされている。6・3・3制につい てはどのようになっているのか。
- (事務局)現在、1学級40名であるが、一律には考えていない。例えば小学校1・2年 生の場合、36名以上は2名の教員が担当している。また、重要科目について

は、少人数教育を実施している。また、6・3・3制についても、以前から論議はあったようだ。今、小中一貫校教育が話題になっているが、成功例となれば見直されるのではないか。ただし、現状ではすぐに移行するとは思わない。

- (委員)造田の場合、幼稚園、小学校そして病院もあるが、学校が無くなれば衰退する だけだ。統合をするとしても十分な教育環境が整備できるとは思わない。むし ろ統合により環境が悪くなるように思う。よって、造田は、統合に反対である。
- (事務局)確かに学校がなくなると地域が衰退すると意見もあるが、子どもの教育面から も考えていかなければならないと思う。また、衰退しない方策も考えていくこ とも、これからの課題である。
  - (委員)統合を前提とした場合、この再編計画には通学手段などの具体的なことがかかれていない。再編の論議をするなら具体的な提示が必要である。また、学校は、地域の核として活動をしている。学校があってこそ地域である。また、具体的な建設計画はどうなっているのか。
- (事務局)今後、通学等の具体策も含め検討をするようにする。建設計画も示していく予 定である。

# (4)次回の日程について

開催日時:平成19年12月14日(金)19時00分から

場 所:長尾支所

議 題:「小学校の再編について」